学校番号	3005

令和８年度　工業科（建築科）

教科	工業	科目	施工技術	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	「建築構造」（実教出版）、「建築設計製図」（実教出版）、 「図説建築資料集」（実教出版）、学校作成教材						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

構造模型（縮尺 2/3）の製作を通して構造の仕組み、部材の名称や役割、大工道具の使用方法、木材加工技術などを体験的に学びます。
鑿、かんな、のこぎりなどの刃物や電動工具を使用するので、安全管理には十分留意してください。
グループでの作業を通して協調性やリーダーシップを身につけましょう。

2　学習の到達目標

・各種構造模型の製作を通して、木材加工や木構造の知識・技術を身につける。
・各種構造模型の製作を通して、安全に作業を進めるための工程を思考・判断できる。
・ものづくりにおける安全管理・品質管理・工程管理について主体的に学ぶ態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	建築物の構造や建築材料、木材加工に関する基礎的な知識や技術を身につけ、現代社会における建築物の構造や建築材料の意義、役割を理解している。 また、建築物の構造や建築材料、木材加工に関する基礎的な知識や技術の習得をもとに建築に関わる諸事項を合理的かつ的確に遂行する技術や技能を身につけ、環境に配慮して適切に活用している。	建築物の構造や建築材料、木材加工に関する基礎的な知識や技術の習得をもとに、建築物の設計や施工をする際に生じる諸問題の解決をめざして自ら思考や判断し、創意工夫する能力を身につけるとともに、その成果を適切に表現できる。	建築物の構造や建築材料、木材加工に関心をもち、これらに関する基礎的な知識や技術の習得に意欲をもって取り組むとともに、建築物の設計や施工に活用しようとする態度を身につけている。

上に示す観点に基づいて学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じてそれぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	CADによる施工図の作成	・施工図の基本 ・施工図の作図準備 ・施工図の作図	a:現代社会における施工図の意義や役割を理解している。 また、施工図に関する基礎的な知識や技術を身につけている。 b:施工図について考え、建築物に適する加工や材料を適切に判断し、選択できる能力を身につけている。 c:施工図の知識や技術の習得に意欲をもって取り組み、活用しようとする態度を身につけている。	課題作品	課題作品 学習状況の観察	課題作品 学習状況の観察 発表・発言
	木造軸組の積算・加工	・積算 ・墨付け ・加工	a:木材加工における建築物の構造や建築材料の意義や役割を理解している。 また、積算、墨付けに関する基礎的な知識や技術を身につけている。 b:身近な建築物を観察し、構造や材料、加工について考え、自ら構想する建築物に適する建築材料を適切に判断し、選択できる能力を身につけている。 c:積算の知識や墨付け、加工技術の習得に意欲をもって取り組み、活用しようとする態度を身につけている。	課題作品	課題作品	課題作品 学習状況の観察 発表・発言

後期	木造軸組の加工・組立	・加工 ・組立	a:建築物の構造や建築材料、木材加工の意義や役割を理解している。また、加工、構造、組立に関する基礎的な知識や技術を身につけている。 b:身近な建築物を観察することで構造や材料、加工について考え、自ら構想する建築物に適する加工や材料を適切に判断し、選択できる能力を身につけている。 c:建築物の構造や材料、加工に関心をもち、基礎的な知識や技術の習得に意欲をもって取り組み、活用しようとする態度を身につけている。	課題作品	課題作品	課題作品 学習状況の観察 発表・発言
	設備施工図の製作	・設備施工図について ・設備施工図の模写① ・設備施工図の模写②	a:現代社会における設備施工図の意義や役割を理解している。また、設備施工図に関する基礎的な知識や技術を身につけている。 b:設備施工図について考え、自ら構想する建築物に適する設備施工図を判断し、選択できる能力を身につけている。 c:設備施工図の知識や技術の習得に意欲をもって取り組み、活用しようとする態度を身につけている。	学習状況の観察 課題作品	課題作品	学習状況の観察 課題作品 発表・発言

表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度